

第1073回教育委員会会議録

1 日 時 平成29年12月27日(水) 午後3時00分～午後4時45分

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 東村教育長 吉井委員 西野委員 八田委員 南部委員 原委員
松田教育振興監 佐々木学校教育幹 淵本企画幹(義務教育)
片柳教育政策課長 巢守学校振興課長 清川高校教育課長
清水生涯学習・文化財課長 萩原文化振興課長

4 議 題

日程第1 第27号議案 県立高等学校再編整備丹南地区実施計画等について

日程第2 第28号議案 平成29年度ふくい優秀教職員表彰被表彰者の決定について

日程第3 第29号議案 福井県朝倉氏遺跡研究協議会委員の委嘱について

5 審議事項

(1) 開会宣告 午後3時00分

(2) 会議録署名人の指名 南部委員 原委員

(3) 議事要録

教育長 本日の日程第二 第二十八号議案から日程第三 第二十九号議案、協議報告事項の三から四については、事務執行上、公開が適当でないことから、非公開といたしたいが御異議ありませんか。

———当該議案を非公開と決する———

教育長 議事に入る前に、県議会意見書について説明する。義務教育課程において、過度の学力偏重は避けること、大綱の基本理念実現に向けた具体的方策を現場に強制しないこと、教員の多忙化を解消すること、発達障害の傾向がある子ども増加を踏まえ、医療・福祉、家庭との連携や学校での生徒理解の徹底を図ることが主な内容である。県としては、これまでも、教員の授業改善を進める中で、学校の序列化や過度な競争が生じないように十分配慮するとともに、地域の特性を活かした教育を進めてきた。意見書の内容や議会で指摘された意見については、真摯に受け止め、今後、検討していくが、いずれにしても、教員が児童や生徒の成長を見守り、個に応じたいいねいな指導を行うことが重要であるので、市町教育委員会と連携し、教育現場への支援を充実していきたい。

吉井委員 意見書は池田中のことを大きく取り扱っているように思う。各学校は熱心に取り組んでいると思うが、学力偏重とか、教育現場に無言のプレッシャーを与

えていると言われているが、実態はどうか。

企画幹(義務教育) 子どもたちの力を伸ばし、可能性を広げることが教員本来の努めであり、教員自身も求めている。先人からの授業改善や研究の努力の成果が、学力全国トップクラスとして現れているものであると認識している。決して、県は、学校の序列化や過度な競争が生じないよう十分配慮しており、教員に過度のプレッシャーを与えることはない。

吉井委員 現場の先生方がぎくしゃくしたり、委縮した指導にならないよう、発達段階に応じて、一人ひとりを見きわめて適切な正しい指導するようにしてほしい。

南部委員 意見書に教育大綱の基本理念実現とあるが、どのような内容か。

教育政策課長 本県の教育、学術および文化の振興に関する施策の基本的な方針である「教育大綱」には、本県はふるさと福井への誇りと愛着を持ち、自ら学び考え行動する力を育む教育を行う、と書かれている。接続を重視した「福井型18年教育」を進め、独自の少人数教育により基礎・基本を定着させる「ていねいな教育」、夢や希望に向かって挑戦する基礎を築く「きたえる教育」により、福井の子どもたちの学力・体力は全国トップクラスを続けている。今後も、地域・家庭・学校の互いの信頼感とつながりの強さ、教員の熱心さに支えられた福井の良さを活かした教育を進め、さらに向上させる。このため、子どもたち一人ひとりがふるさと福井への誇りや愛着を持ちながら、グローバルに活躍できるよう、それぞれの得意分野を伸ばし、夢や希望を実現する「突破力」を身に付けることができる教育を推進する。また、県は市町と連携して、教員研修の充実や自主的な研究の促進に努めるとともに、社会のニーズに合った学校・学科の整備を進める。これらの取り組みにより、子どもたちの自ら学び考え行動する力を育み、人口が減少する中においても地域に新たな活力を生み出し、福井の未来の原動力となる人づくりを推進する。県としては、この基本理念に沿って、具体的に施策を進めるための行動計画「教育振興基本計画」を策定し、変化の激しい複雑化した社会の中、子どもたちがそれぞれの得意分野で、夢や希望の実現に向かって挑戦するとともに、日本や地域の将来を考え、自立した社会人としての自覚を持ち行動する力を育む教育を進めているところである。

南部委員 現場の先生方に負担や強制にあたらないようにしてほしい。

原委員 先生方の多忙化の解消に向けて、具体的な取組は。

学校振興課長 学校において、全県下で、土日のいずれか1日、平日の1日の週2日間の部活動休養日の設定や管理職による出退勤管理などを行っており、今年9月と昨年9月の勤務時間を比較すると、約15分短くなっているが、依然として長時間勤務の状況が解消されるには至っていない。県としては、学校運営支援員や部活動講師、スクールカウンセラーなど外部人材による支援をさらに拡充するとともに、校務支援システムの整備などにより勤務時間の縮減に努めていく。

原委員 先生方の仕事を軽減するように努めてほしい。

西野委員 池田中学校の生徒や先生方の様子はどうか。

企画幹(義務教育) 教員やスクールカウンセラーの派遣によって、だいぶ落ち着いてきて、通常の学校になってきている。

学校振興課長 県としては、校長不在のまま受験や卒業の時期を迎える事態が生じないように、1月1日から新たな校長を赴任させることとした。

西野委員 継続して子どもたちの様子を見て行ってほしい。

八田委員 教員の処分について、見通しはどうか。

教育政策課長 池田町からの事故に関する報告書については、現在、その内容について町とやりとりをしているところである。

教育長 日程第1、第27号議案を議題とする。

学校振興課長 県立高等学校再編整備丹南地区実施計画等を決定したいので、この案を提出する。

(資料1に基づき説明する。)

南部委員 仮称である「ものづくり科」で、ポルトガル語を選択科目に設置するのはなぜか。

高校教育課長 地元の企業で働いている方でブラジルの方が多く、働いているブラジルの方と日常会話ができるように、地元の方からの要望もあり設置する予定である。日本人のための選択科目である。

南部委員 ポルトガル語を母国語とする小学生や中学生は何人ぐらいいるのか。

学校振興課長 小学生で57人、中学生で15人いる。

西野委員 武生東高校国際科では主とする外国語は何か。

高校教育課長 国際科では英語のみである。

八田委員 平成32年度に鯖江高校や武生高校、敦賀高校に探求科を設置予定とあるが、他にいいネーミングはないのか。

高校教育課長 なじみがない名称であるが、若狭高校では文理探求科がある。進学体制の強化のことが伝わるように準備委員会で名称を決めていきたい。

原委員 若狭高校は入学時から文系と理系の分かれるのか。

高校教育課長 文理探求科は2クラスあり、1年生は同じ内容で学習し、2年生からは文系と理系に分かれる。

教育長 第27号議案について、原案のとおりとすることについて御異議ありませんか。

————承認する————

◎協議・報告事項

(1) 平成29年度文部科学省予算案について

原委員 部活動指導員の確保について、目途はどうなっているのか。

学校振興課長 現在、部活動講師として、教員OBを、中学校に25名、高校に4名配置している。来年度は国の事業として、国と県、市町が3分の1ずつ負担し、配置を拡充していきたい。引率もしてもらうために、教員免許を取得している教員OBをお願いしているところである。

(2) 高志中学校の給食開始について

吉井委員 給食費はいくらか。

高校教育課長 1食380円である。

西野委員 高校生はいくらか。

高校教育課長 1食410円である。

八田委員 高校生の席はどれくらい確保できるのか。

高校教育課長 400の席があり、中学校で300席ぐらい必要なので、高校生の席は100席ぐらいである。

教育長 日程第2、第28号議案を議題とする。

学校振興課長 平成29年度ふくい優秀教職員表彰被表彰者を決定したいので、この案を提出する。

(資料4に基づき説明する。)

教育長 第28号議案について、原案のとおりとすることについて御異議ありませんか。

————承認する————

教育長 日程第3、第29号議案を議題とする。

学校振興課長 福井県朝倉氏遺跡研究協議会委員を委嘱したいので、この案を提出する。

(資料5に基づき説明する。)

教育長 第29号議案について、原案のとおりとすることについて御異議ありませんか。

————承認する————

◎協議・報告事項

(3) 文部科学大臣表彰の推薦について
・子どもの読書活動表彰

(4) 福井県指定文化財の指定にかかる諮問について

教育長 本日の会議の終了を宣言

6 閉会宣言 午後4時45分